

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度		開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科			
科目名称	都市緑地論							授業形態		講義		
科目コード	710086	単位数	2単位		配当学年	2		実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	関西 剛康										ICT活 用	○
授業概要	緑豊かな潤いのある人類の生息地である「都市」の形成には、世界的にも緑地空間は重要な役割を担っている。授業では、主に世界における近代公園の形成から、日本における導入、そして現代における成熟期までの変遷と今後の動向について概説する。そして、都市緑地の形成と今後に関する基礎的知識とその技術、理解能力を身につけることを目指す。教員は、技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、実務として造園コンサルタントの設計事務所での20年にわたって国内外100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画したキャリアを有する。また、教員は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会長などの職務経験も豊富である。授業では、実際に計画設計したランドスケープや先進事例を紹介しながら行う。											
関連する科目	本授業の履修より前には環境園芸概論、造園学概論、造園植栽論、敷地計画論を受講することが望ましい。											
授業の進め方 と方法	1. 授業は、テキスト代わりに配布するプリント資料（第1～4章で構成、約70頁）と、パワーポイントによるスライドをもとに行う。 2. 受講生にはテキストを音読してもらい、教員が解説しながら行う方式で授業する。 3. テキスト内の重要なキーワードは穴埋式となっており、授業進捗に伴いスライド上で示して伝えるので書き写すこと。 4. アクティブラーニングとして、グループディスカッションによる協議も行い、学んだ内容について意見交換及び纏めの発表を行って理解を深める。 5. ICTの活用として、Web小テスト、Webレポートを行って理解を深める。											
授業計画 【第1回】	序論（近代国家における都市緑地形成とは何か） ・講義全体の概要、評価方法について説明											
授業計画 【第2回】	第1章 世界における近代公園の誕生（先進諸国における近代公園の誕生について学ぶ） ・1.1 英国ロンドンにおける近代公園の成立											
授業計画 【第3回】	第1章 世界における近代公園の誕生（先進諸国における近代公園の誕生について学ぶ） ・1.2 仏国パリの都市大改造による近代公園の整備											
授業計画 【第4回】	第1章 世界における近代公園の誕生（先進諸国における近代公園の誕生について学ぶ） ・1.3 米国ニューヨークでの都市構造にみるセントラル・パークの誕生 ・第1章まとめのワークショップ開催											
授業計画 【第5回】	第2章 日本での都市緑地の誕生（明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ） ・2.1 明治期における近代公園の黎明											
授業計画 【第6回】	第2章 日本での都市緑地の誕生（明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ） ・2.2 東京の都市改造にみる公園整備計画 ・2.3 パブリック・ガーデンとパークの整備とその相違											
授業計画 【第7回】	第2章 日本での都市緑地の誕生（明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ） ・2.4 パークシステム理論の流入											
授業計画 【第8回】	第2章 日本での都市緑地の誕生（明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ） ・2.5 国家プロジェクトとしての明治神宮の整備											
授業計画 【第9回】	第2章 日本での都市緑地の誕生（明治・大正期に導入された公園制度や緑地形成等について学ぶ） ・2.6 関東大震災からの帝都復興にみるパークシステム ・第2章まとめのワークショップ開催											
授業計画 【第10回】	第3章 日本における都市緑地の展開と現在（昭和期から現在までに発展した公園制度や緑地形成について学ぶ） ・3.1 昭和初期における緑地整備計画											

授業計画 【第11回】	第3章 日本における都市緑地の展開と現在（昭和期から現在までに発展した公園制度や緑地形成について学ぶ） ・ 3.2 戦災復興における緑地整備計画
授業計画 【第12回】	第3章 日本における都市緑地の展開と現在（昭和期から現在までに発展した公園制度や緑地形成について学ぶ） ・ 3.3 現在の都市緑地における方針 ・ 3.4 現在の緑のオープンスペースのあり方 ・ 第3章まとめのワークショップ開催
授業計画 【第13回】	第4章 都市緑地におけるパークマネジメントについて（先進的で持続可能な公園の運営について学ぶ） ・ 4.1 パークマネジメントの概要 ・ 4.2 海外で注目のパークマネジメントの事例について
授業計画 【第14回】	第4章 都市緑地におけるパークマネジメントについて（先進的で持続可能な公園の運営について学ぶ） ・ 4.3 日本で注目のパークマネジメントの事例について
授業計画 【第15回】	第4章 都市緑地におけるパークマネジメントについて（先進的で持続可能な公園の運営について学ぶ） ・ 4.4 パークマネジメントにおける収益モデルの事例について ・ 4.5 まとめ ・ 第4章まとめのワークショップ開催
授業の到達目標	1. 都市緑地についての理解や計画ができる専門職業人としての自覚・意欲を身につける【態度・志向性の育成】 2. 都市緑地についての手法や理念が構築できる資質・能力を学び、その実践に向けた自己の課題を把握する【自己管理能力・生涯学習力】 3. 造園の専門職業人として、都市緑地についての手法や理念を理解し、その内容を学ぶ【職業知識・技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	1. 授業で配布するテキスト資料等を授業前に精読すること。 2. 予習は1時間程度行うこと。
授業時間外学習【復習】	1. 授業後にさらに理解を深めるためにテキスト資料等を再度精読すること。 2. 復習は1時間程度行うこと。
課題に対する フィードバック	1. 学期末定期試験の終了後、解説する。 2. 評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説する。
評価方法・基準	1. Web小テスト（20点） 2. Webレポート（20点） 3. 学期末試験（60点） 4. 授業への取り組みも評価（授業態度によってはマイナス評価も行う）
テキスト	1. テキストは、授業の進捗にあわせてプリント（A4コピー資料は約80頁）を配布。 （各自で紙ファイルやクリアファイルに綴じ込むことが望ましい）
参考書	1. 寺沢弘樹（2023）：実践！PPP／PFIを成功させる本：学陽書房、pp176 2. 鈴木文彦（2022）：公民連携パークマネジメント：人を集め都市の価値を高める仕組み、pp224 3. 日経アーキテクチュア（2022）：公民連携まちづくり事例&解説 エリア再生のためのPPP：日経BP、pp296 4. 株式会社民間資金等活用事業推進機構（2019）：自治体担当者のためのPFI実践ガイドブック：中央経済社、pp226 5. 石川幹子（2001）：都市と緑地-新しい都市環境の創造に向けて-：岩波書店 pp400
備考	